

教科	地理歴史	科目	世界史 B			単位数	4
学科	普通科	履修学年	2	コース	文系	必修・選択	必修
教科書	『詳説世界史』(山川出版社)						
副教材等	『グローバルワイド 最新世界史図表』(第一学習社)						

学習目標	世界の歴史の大きな枠組みと展開を諸資料に基づき地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解させ、文化の多様性・複合性と現代世界の特質を広い視野から考察させることによって、歴史的思考力を培い、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。						
指導の重点	① 基本的な歴史用語について、歴史的文脈の中で理解させる。 ② 歴史から学び、現在の諸課題に取り組む姿勢を養う。 ③ 歴史に対する関心と世界史学習への意欲を高める指導を行う。 ④ センター試験・国公立二次入試・私立大入試に対応できる力を身につけさせる。						
学習計画	学期(時数)	学習項目	学習内容(学習活動)				評価方法
	1 学期(40)	世界史への扉 序章 先史の世界 第 1 章 オリエンと地中海 第 2 章 アジア・アメリカの古代文明 第 3 章 内陸アジア世界・東アジア世界の形成	世界史学習の導入 西アジアと地中海一帯の地理的特質、オリエン文明、イラン人の活動、ギリシア・ローマ文明に触れ、西アジア世界と地中海世界の形成過程を把握させる。 南アジアと東南アジアの地理的特質、インダス文明、アーリヤ人の進入以後の南アジアの文化、社会、国家の発展、東南アジアの国家形成に触れ、南アジア世界と東南アジア世界の形成過程を把握させる。 東アジアと内陸アジアの地理的特質、中華文明の起源と秦・漢帝国、遊牧国家の動向、唐帝国と東アジア諸民族の活動に触れ、日本を含む東アジア世界と内陸アジア世界の形成過程を把握させる。				授業の取組 課題 定期テスト
	2 学期(48)	第 4 章 イスラーム世界の形成と発展 第 5 章 ヨーロッパ世界の形成と発展 第 6 章 内陸アジア世界・東アジア世界の展開	アラブ人とイスラーム帝国の発展、トルコ系民族の活動、アフリカ・南アジアのイスラーム化に触れ、イスラーム世界の形成と拡大の過程を把握させる。 ビザンツ帝国と東ヨーロッパの動向、西ヨーロッパの封建社会の成立と変動に触れ、キリスト教とヨーロッパ世界の形成と展開の過程を把握させる。 内陸アジア諸民族と宋の抗争、モンゴル帝国の興亡とユーラシアの諸地域世界や日本の変動に触れ、内陸アジア諸民族が諸地域世界の交流と再編に果たした役割を把握させる。				授業の取組 課題 定期テスト

	3 学期 (40)	第7章 アジア諸地域の繁栄	西アジア・南アジアのイスラーム諸帝国や東南アジア海域の動向、明・清帝国と日本や朝鮮などとの関係を扱い、16世紀から18世紀までのアジア諸地域の特質とその中で日本の位置付けを理解させる。	授業の取組 課題 定期テスト
		第8章 近世ヨーロッパ世界の形成	ルネサンス、宗教改革、主権国家体制の成立、世界各地への進出と大西洋世界の形成を扱い、16世紀から18世紀までのヨーロッパ世界の特質とアメリカ・アフリカとの関係を理解させる。	
計 1 2 8 時間 ( 5 5 分 授 業 )				
評価規準と 評価方法	関心・意欲・態度	思考・判断・表現	資料活用の技能	知識・理解
	世界の歴史に対する関心と課題意識を高め、意欲的に追究するとともに、国際社会に主体的に生き国家・社会を形成する日本国民としての責務を果たそうとしている。	世界の歴史から課題を見だし、文化の多様性・複合性や現代世界の特質を多面的・多角的に考察し、国際社会の変化を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。	世界の歴史に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。	世界の歴史についての基本的な事柄を地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解し、その知識を身に付けている。
[評価方法] 以上の観点を踏まえ ・ 授業の取組（授業態度、発表や討論の様子、学習活動への参加状況など） ・ 課題 ・ 定期テスト などから、総合的に評価する。				
学習の ポイント	<ul style="list-style-type: none"> <li>世界史は決して暗記科目ではありません。歴史的出来事の発生原因や背景、経過などを学ぶ学問です。なぜその出来事が起きたのか、なぜそのように経過したのかといった、「なぜ」という視点を忘れずに学習していこう。</li> <li>世界史は過去の出来事だけを扱った科目ではありません。現在とのつながりをもった過去（歴史）を学ぶのです。現在の出来事に関心がなければ、歴史をより良く見通すことができません。日頃から、今起きている事件やニュースに興味・関心を持とう。</li> </ul>			